

しなののうた

全山が花に埋もるる季にあらば桃源郷に入る心地す



杉田小百合

しなののうた

ほとばしる湧き水ありて掬えればのどみにしみて身を貫けり

杉田小百合

しなののうた

朝湯などさらさらなくも湯の宿の露天の風呂に花吹雪浴ぶ

杉田小百合



しなののうた

眼下には芽吹き初めし木にあまたひと日ふんわり身のほぐれくる

杉田小百合

